

サブゼミ開催のお知らせ

日本古代史料入門(全2回)

担当：研究推進員 渡辺 滋（日本史）

年度初めにあたり、日本古代の文献史料を研究するための基礎的なツール・手法などを説明します。2回にわたる説明で、基本的な調査法はおおよそ紹介する予定です。日本史のみならず周辺諸分野の院生にとっても色々と役に立つはずですので、興味がある方は、専攻にかかわらずご参加ください。

当日は、配布するレジメに沿って約60分の説明をした後、質問の時間を取る予定です。もしご要望（特定の論点に関する調査方法の紹介など）があれば、各分野の研究推進員などを介して事前にご連絡いただいた方が、適切に対応できるかと思えます。

記

第一回「総論」

- 日時： 2009年5月18日（月曜日） 17時～18時
場所： 12号館9階（駿河台）研究推進員室
概要： 古代史料を研究する際に用いる、主な辞典・年表類の紹介を行います。その上で、史料の活字本・写真帳・注釈書・索引などに関して、それぞれの特徴や利用方法などについて説明します。

第二回「各論」

- 日時： 2009年5月25日（月曜日） 17時～18時
場所： 12号館9階（駿河台）研究推進員室
概要： 古代史料を解釈する際に必要な、語彙語法・地誌・官職・人物・儀式・宗教・書誌・研究史などの調査に用いるさまざまなツールと、その具体的な利用方法に関して説明します。加えて、最近増加しつつある、パソコン上で利用する各種データベースの紹介も行います。

以上